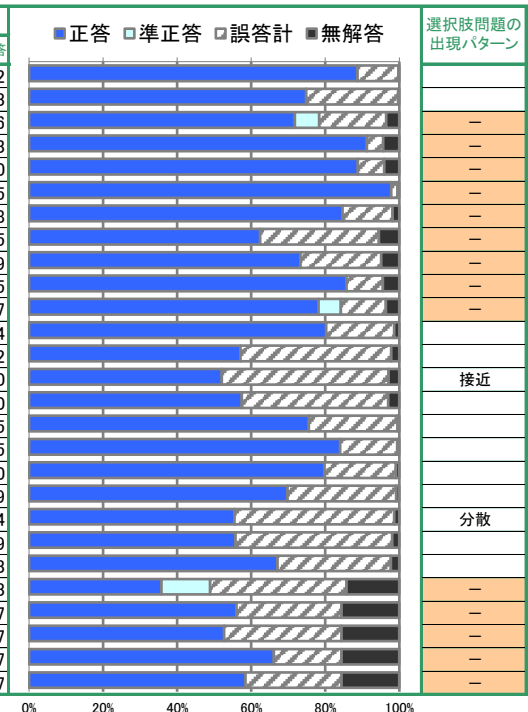


小学校3年  
国語

熊本県教育委員会  
第3学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率								選択肢問題の 出現パターン										
									1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	類型外誤答	無解答						
1	1	(1)		話し合いの内よを聞きとる	話の中心に気をつけて聞くことができる。	88.7	90.0	≒	0.7	2.8	88.7	7.5															
2		(2)			話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	74.8	80.0	▼	2.4	2.7	19.8	74.8															
3		(3)					75.1	75.0	≒	71.8	6.6	0.8															
4	2	(1)	①	かん字を読む	第3学年配当漢字を読むことができる。	91.2	90.0	≒	91.2																		
5						②	88.8	90.0	≒	88.8																	
6						③	97.8	90.0	△	97.8																	
7						④	84.6	80.0	≒	84.6																	
8		(2)	①	かん字を書く	第2学年配当漢字を書くことができる。	62.4	60.0	≒	62.4	3.4	16.7																
9						②	73.3	75.0	≒	73.3	1.4	17.6															
10						③	85.8	90.0	≒	85.8																	
11		④			81.2	80.0	≒	78.2	6.0																		
12	3	(1)		ことばの学しゅう	漢字の部首を理解している。	80.3	80.0	≒	9.8	80.3	3.2	4.5															
13		(2)			ローマ字のつづりを理解している。	57.1	60.0	≒	11.7	6.0	57.1	21.9															
14		(3)	①			国語辞典の使い方を理解している。	52.0	60.0	▼	10.0	28.4	5.8	52.0														
15	②						57.4	60.0	≒	57.4	7.2	24.7	6.9														
16	4	(1)		ものがたりの内よを読みとる	場面の様子を読み取ることができる。	75.6	75.0	≒	2.7	16.6	4.6	75.6															
17		(2)			登場人物の気持ちを読み取ることができる。	84.0	85.0	≒	2.0	9.8	84.0	3.5															
18		(3)				目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	79.8	75.0	≒	79.8	5.0	6.0	8.1														
19	5	(1)		せつ明文の内よを読みとる	文章の内容を的確に読み取ることができる。	69.8	70.0	≒	9.7	69.8	9.2	10.4															
20		(2)			段落の内容を理解して、文章を読み取ることができる。	55.5	60.0	≒	15.4	21.8	5.7	55.5															
21		(3)				文章の内容を的確に読み取ることができる。	55.7	60.0	≒	12.9	18.9	55.7	10.5														
22	6	(1)		あんないの手紙を書く	大事なことが伝わるように、手紙文を改善することができる。	67.1	70.0	≒	6.7	67.1	17.6	6.2															
23		(2)			手紙文への意見を受けて、手紙文を改善するための文章を書くことができる。	42.3	40.0	≒	35.7	13.2																	
24	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	56.1	55.0	≒	56.1	7.1																	
25					2段落構成で文章を書くことができる。	52.7	50.0	≒	47.5	5.2	3.9																
26						書こうとすることの中心を明確にして文章を書くことができる。	66.1	60.0	△	33.6	9.4	23.1															
27							58.4	60.0	≒	34.6	9.4	14.4															



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜、ア〜、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校3年  
算数

熊本県教育委員会  
第3学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン	
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		類型外誤答
1		(1)		かけ算	乗数が0の計算ができる。	97.2	90.0	△	97.2									2.7	0.1	—
2		(2)	2けた×1けた=3けたの計算ができる。		75.2	75.0	≒	75.2										23.8	1.0	—
3		(3)	3けた×1けた=3けたの計算ができる。		76.9	75.0	≒	76.9										21.8	1.3	—
4		(4)	3けた×1けた=4けた(被乗数に空白あり)の計算ができる。		79.5	75.0	≒	79.5	1.4									17.4	1.7	—
5		(5)	わり算		2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	90.1	90.0	≒	90.1									7.9	2.0	—
6		(6)			2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	76.8	80.0	≒	76.8	0.2	1.8							18.1	3.1	—
7		(7)	たし算・ひき算		3けた+3けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	83.4	85.0	≒	83.4									15.4	1.2	—
8		(8)			4けた-3けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	74.1	75.0	≒	74.1	5.0								18.6	2.3	—
9		(1)	10000より大きい数	千万の位までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解している。	85.0	80.0	△	85.0	6.5	2.7	5.0	85.0					0.3	0.4	—	
10		(2)		数の相対的な大きさを理解している。	60.2	60.0	≒	60.2	8.4	60.2	22.0	8.8					0.2	0.4	—	
11		(3)		100倍した数を理解している。	77.0	75.0	≒	77.0	1.3	11.0	77.0	10.1					0.3	0.4	—	
12	3			数直線に示された数の大きさを理解している。	82.3	80.0	△	82.3	1.1	82.3	12.5	3.4				0.3	0.4	—		
13	4			かけ算のきまり(分配法則)を理解している。	76.0	75.0	≒	76.0								19.9	4.1	—		
14	5			文章問題を解くための除法の立式ができる。	79.3	80.0	≒	79.3	1.6	4.3	14.0	79.3				0.3	0.5	—		
15	6			文章問題を解くための乗法の立式ができる。	73.3	75.0	≒	73.3	9.8	14.0	2.0					0.2	0.7	—		
16	7	式 答え	わり算	文章問題を解くための除法の立式ができる。	67.2	70.0	≒	67.2								29.9	2.9	—		
17				文章問題を解くために立式した除法の式から、あまりの処理をして、正しい答えを求めることができる。	52.9	55.0	≒	52.9									43.0	4.0	—	
18	8			除法の式(48÷8)に合った文章問題を選ぶことができる。	72.0	80.0	▼	72.0	12.3	6.6	72.0	7.5				0.4	1.2	—		
19	9	(1)	わり算	何倍かを求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	82.1	85.0	≒	82.1	4.9	9.0	2.4	82.1				0.4	1.2	—		
20		(2)		何倍かを求める除法の文章問題を、図をもとに解くことができる。	67.4	75.0	▼	67.4								30.0	2.5	—		
21	10	(1)	時ごとと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めることができる。	81.5	85.0	≒	81.5	4.9	5.6	81.5	6.7				0.1	1.3	—		
22		(2)		2つの時刻の間の時間を求めることができる。	83.7	85.0	≒	83.7	4.5	3.7	5.9	83.7				0.6	1.7	—		
23		(3)		1分=60秒であることを理解している。	77.8	75.0	≒	77.8	1.6	3.5	77.8	15.5				0.3	1.3	—		
24	11	(1)	長さ	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取ることができる。	67.1	65.0	≒	67.1	67.1	14.5					16.5	2.0	—			
25		(2)		地図から読み取った2つの道のりについて、長さの大小の表し方を理解している。	59.2	60.0	≒	59.2	16.4	11.1	8.0				0.6	4.6	—			
26	12	(1)	時ごとと時間	身近にある事象について、およその時間を理解している。	85.7	90.0	≒	85.7	2.5	2.4	85.7	7.6			0.1	1.7	—			
27		(2)	長さ	身近にあるものについて、およその長さを理解している。	78.0	75.0	≒	78.0	10.5	78.0	4.6	5.0			0.2	1.7	—			
28	13		円と球	円の中心とコンパスの使い方を理解している。	82.5	85.0	≒	82.5	6.2	6.2	3.1			0.1	2.0	—				
29	14		円と球	ボールが2つ入った箱の高さから、ボールの半径を求めることができる。	54.0	55.0	≒	54.0	5.5	4.1	32.9	54.0			0.9	2.6	接近			
30	15		円と球	コンパスで同じ長さを測りとることができることを理解し、長さの見当をつけることができる。	63.9	60.0	≒	63.9	12.2	63.9	12.1	6.9			0.3	4.7	—			
31	16		かけ算	70×6の計算のしかたを、10の何個分かをもとに説明することができる。	40.8	50.0	▼	40.8	2.4	8.5					38.0	10.4	—			
32	17		かけ算	( )を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、式の意味を場面と結びつけて説明することができる。	35.9	40.0	≒	35.9	26.4	13.2	16.5	35.9			0.3	7.7	接近・分散			
33	18		わり算	余りのあるわり算の答えの確かめ方を説明することができる。	32.9	35.0	≒	32.9	10.3						35.9	20.9	—			
34	19	(1)	時ごとと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めることができる。	40.3	40.0	≒	40.3							36.6	23.1	—			
35		(2)	わり算	余りの処理に気をつけて、列の数と一番後ろの列の人数を求めることができる。	13.3	30.0	▼	13.3	4.9	8.4	11.2			41.1	34.4	—				
36		(3)	かけ算	問題の場面を理解し、乗法と減法を適用して答えを求めることができる。	16.4	30.0	▼	16.4							42.7	40.9	—			



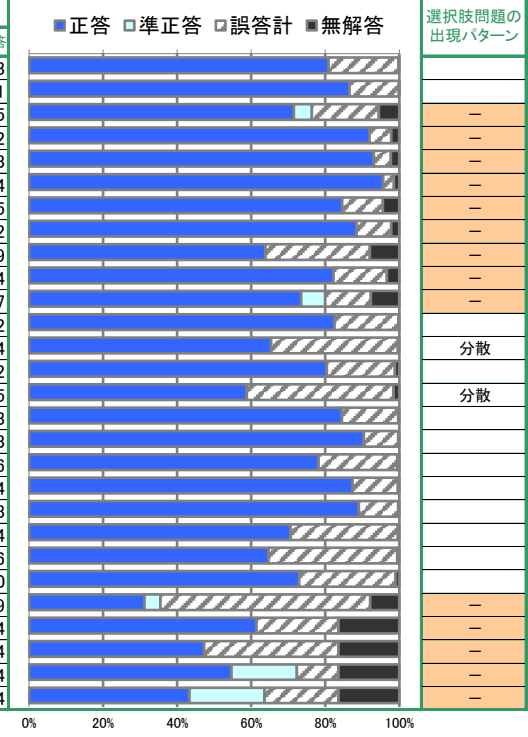
※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校4年  
国語

熊本県教育委員会  
第4学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										類型外誤答	無解答	選択肢問題の 出現パターン				
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				11	12		
1	1	(1)		話し合いの内よう聞き取る	話し方の工夫を考えながら、話の中心に気をつけて聞くことができる。	80.9	85.0	≒	4.3	80.9	6.5	8.1							0.0	0.3					
2		(2)	話の中心に気をつけて聞くことができる。		86.5	85.0	≒	10.6	0.8	86.5	1.9								0.0	0.1					
3		(3)	発言者の提案内容を理解して話し合うことができる。		73.9	65.0	△	71.5	4.9											18.1	5.5				
4	2	(1)	①	漢字を読む	第4学年配当漢字を読むことができる。	91.9	90.0	≒	91.9											5.9	2.2				
5						②	93.1	90.0	≒	93.1												4.6	2.3		
6						③	95.6	90.0	△	95.6													2.9	1.4	
7						④	84.6	90.0	▼	84.6													10.9	4.5	
8		(2)	①	漢字を書く	第3学年配当漢字を書くことができる。	88.5	80.0	△	88.5	4.4	3.6									1.3	2.2				
9						②	63.8	60.0	≒	63.8	4.5	16.8										6.9	7.9		
10						③	82.3	85.0	≒	82.3													14.3	3.4	
11		④			76.7	75.0	≒	73.5	6.5										12.3	7.7					
12	3	(1)		言葉の学習	主語と述語について理解している。	82.5	65.0	△	3.6	82.5	1.5	12.1							0.1	0.2					
13		(2)	連体修飾語について理解している。		65.4	60.0	△	3.6	14.5	65.4	16.1								0.1	0.4					
14		(3)	ことわざの使い方を理解している。		80.4	70.0	△	5.9	7.0	5.4	80.4									0.1	1.2				
15		(4)	漢字辞典の使い方を理解している。		58.8	60.0	≒	58.8	7.5	13.3	15.3									3.5	1.5				
16	4	(1)		物語の内よう読み取る	登場人物の気持ちを読み取ることができる。	84.5	80.0	≒	2.8	6.6	5.7	84.5							0.1	0.3					
17		(2)	場面の様子を読み取ることができる。		90.4	85.0	△	90.4	4.0	3.5	1.8									0.1	0.3				
18		(3)	目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。		78.2	70.0	△	4.3	7.6	78.2	9.3									0.0	0.6				
19		(4)	登場人物の性格を読み取ることができる。		87.4	80.0	△	2.9	87.4	6.1	3.1									0.1	0.4				
20	5	(1)		せつ明文の内よう読み取る	文章の内容を的確に読み取ることができる。	89.0	85.0	≒	5.6	89.0	2.4	2.6							0.1	0.3					
21		(2)	段落の内容を理解して、文章を読み取ることができる。		70.6	65.0	△	6.0	8.6	13.7	70.6									0.7	0.4				
22		(3)	文章の内容を的確に読み取ることができる。		64.7	65.0	≒	12.1	2.8	19.7	64.7									0.1	0.6				
23	6	(1)		図かんを作る	内容がよく伝わるように、図かんの見出しをつけることができる。	73.0	60.0	△	11.9	73.0	5.7	5.2							3.2	1.0					
24		(2)	資料の内容を理解して、作成している図かんに適切な文章を書き加えることができる。		33.4	40.0	▼	31.2	0.0	4.3										56.6	7.9				
25	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	61.4	65.0	≒	61.4	3.3									18.9	16.4					
26					2段落構成で文章を書くことができる。	47.3	55.0	▼	42.6	4.7	2.4									33.9	16.4				
27					書こうとするものの中心を明確にして文章を書くことができる。	63.5	60.0	≒	49.3	5.4	17.7									11.3	16.4				
28					相手や目的を意識して文章を書くことができる。	53.4	50.0	≒	43.3	20.2											20.1	16.4			



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校4年  
算数

熊本県教育委員会  
第4学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン		
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		類型外誤答	無解答
1		(1)		計算のきまり	計算のきまりを使って、( )のある式の計算ができる。	89.5	90.0	≒	89.5	0.2								10.0	0.3	—	
2		(2)		計算のきまり	計算のきまりを使って、四則混合(減法・除法)の式の計算ができる。	79.2	80.0	≒	79.2	9.3								10.8	0.7	—	
3		(3)		わり算	2けた÷1けた=2けた(余りなし)の計算ができる。	85.9	90.0	≒	85.9									13.0	1.0	—	
4		(4)			3けた÷1けた=3けた(余りなし)の計算ができる。	79.4	75.0	≒	79.4									17.8	2.8	—	
5		(5)			3けた÷1けた=3けた(商に空位あり、余りあり)の計算ができる。	62.8	60.0	≒	62.8	19.4								14.3	3.5	—	
6		(6)			3けた÷1けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	78.3	70.0	△	78.3									16.9	4.8	—	
7		(7)			2けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	70.4	70.0	≒	70.4									23.5	6.1	—	
8		(8)			3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	56.2	55.0	≒	56.2									35.1	8.7	—	
9		(1)			億と兆・がい数の表し方	十進位取り記数法による数の表し方を理解している。	90.6	90.0	≒	1.2	2.1	90.6	5.6						0.2	0.2	—
10		(2)				命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	67.1	65.0	≒	18.2	67.1	10.4	3.9						0.1	0.3	—
11		(3)		数直線上に示された数の大きさを理解している。		80.7	85.0	≒	5.6	6.8	6.6	80.7						0.0	0.3	—	
12		(4)		10分の1にした数を求めることができる。		73.9	75.0	≒	7.0	6.3	73.9	12.1						0.2	0.6	—	
13		(1)		億と兆・がい数の表し方	上から2けたの概数の表し方を理解している。	84.2	75.0	△	5.9	4.8	84.2	4.8						0.0	0.2	—	
14		(2)			概数に対応する数の範囲がわかる。	59.3	60.0	≒	3.6	59.3	6.1	29.3						1.1	0.6	—	
15		(1)		わり算	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	65.2	65.0	≒	12.1	10.6	11.5	65.2						0.1	0.5	—	
16		(2)			図を使って、基準量を求める除法の文章問題に合った式を選ぶことができる。	76.1	80.0	≒	1.9	18.5	76.1	2.9						0.0	0.5	—	
17		5		わり算	わり算の筆算に出てくる数の意味を理解している。	52.4	55.0	≒	52.4	18.2	15.8	12.4					0.1	1.1	分散		
18		6		式 答え	文章問題を解くための除法の立式ができる。	87.0	85.0	≒	87.0	5.1								5.9	1.9	—	
19					文章問題を解くために立式した3けた÷1けた=2けた(余りあり)の式から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	64.2	70.0	▼	64.2	9.9								21.8	4.1	—	
20		7		計算のきまり	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選ぶことができる。	54.2	65.0	▼	11.5	13.7	19.2	54.2						0.1	1.3	分散	
21		8		計算のきまり	( )を使った四則混合の式の計算順序がわかる。	66.9	65.0	≒	2.2	25.0	66.9	4.8						0.0	1.1	—	
22		9		計算のきまり	分配法則がわかる。	46.9	50.0	≒	27.6	10.1	13.2	46.9						0.1	2.0	接近・分散	
23		(1)		角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさの読み取り方を理解している。	85.2	80.0	△	85.2									13.9	0.9	—	
24		(2)			角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを計算で求めることができる。	69.2	70.0	≒	69.2	19.9	3.7	3.3						2.5	1.3	—	
25		11		角の大きさ	180°より大きい角を求める式がわかる。	72.3	65.0	△	11.2	10.2	4.8	72.3						0.2	1.3	—	
26		12		面積	身近にあるもののおよその面積について理解している。	91.0	90.0	≒	91.0									7.9	1.1	—	
27		13		面積	複合図形の面積の求め方に合った図を選ぶことができる。	79.9	80.0	≒	7.3	79.9	8.3	3.2						0.1	1.2	—	
28		14		垂直・平行と四角形	平行の意味を理解している。	67.2	65.0	≒	1.6	7.4	4.2	16.0	67.2				2.0	1.6	—		
29		15		垂直・平行と四角形	いろいろな四角形の対角線の特徴を理解している。	36.8	35.0	≒	18.4	36.8	8.7	34.3						0.1	1.7	接近・分散	
30		16		垂直・平行と四角形	ひし形の作図ができる。	74.7	65.0	△	74.7									21.0	4.3	—	
31		(1)		折れ線グラフ	折れ線グラフの縦軸の目もりの付け方を理解している。	95.5	90.0	△	95.5									1.3	3.1	—	
32		(2)			折れ線グラフを正しく読み取ることができる。	45.1	45.0	≒	16.6	15.4	45.1	19.6						0.2	3.2	分散	
33		(1)		面積	面積の求め方に合った式を選ぶことができる。	55.6	50.0	△	15.5	23.4	55.6							0.3	5.1	分散	
34		(2)			道の重なりに注目して、面積の大きさを説明することができる。	29.4	30.0	≒	11.0	11.1	7.3							46.0	24.6	—	
35		19		わり算	除法の性質を理解し、工夫した計算のしかたを説明することができる。	29.6	30.0	≒	29.6	45.8							9.4	15.2	—		

0% 20% 40% 60% 80% 100%

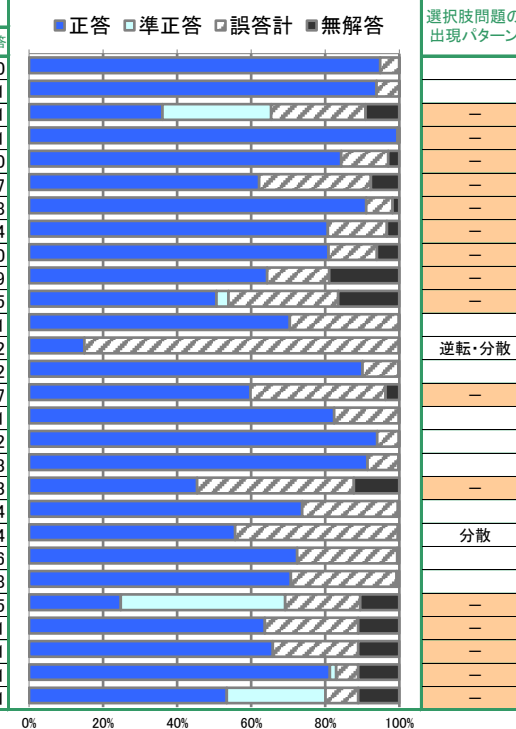
※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、A〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校5年  
国語

熊本県教育委員会  
第5学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン				
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		無解答			
1	1	(1)		話し合いの内よう聞き取る	話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことができる。	94.8	90.0	≒	0.9	94.8	0.9	3.2						0.0	0.0				
2		(2)	話し手の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞くことができる。		93.9	90.0	≒	3.6	0.9	93.9	1.6							0.0	0.1				
3		(3)	話し手の提案に合う意見を出して、進んで話し合おうとすることができる。		50.7	45.0	△	36.1	29.4										25.5	9.1	—		
4	2	(1)	①	漢字を読む	第5学年配当漢字を読むことができる。	99.5	90.0	△	99.5									0.4	0.1	—			
5						②	84.3	90.0	▼	84.3										12.7	3.0	—	
6						③	62.1	80.0	▼	62.1											30.1	7.7	—
7						④	91.1	90.0	≒	91.1											7.1	1.8	—
8		(2)	①	漢字を書く	第4学年配当漢字を書くことができる。	80.7	80.0	≒	80.7	11.3	1.6							2.9	3.4	—			
9						②	80.9	60.0	△	80.9	1.4	9.5								2.2	6.0	—	
10						③	64.3	60.0	≒	64.3											16.8	18.9	—
11		④			52.2	55.0	≒	50.6	3.2								29.7	16.5	—				
12	3	(1)		言葉の学習	連体修飾語について理解している。	70.4	65.0	△	1.1	12.7	70.4	15.7						0.0	0.1				
13					(2)	通用修飾語について理解している。	15.0	30.0	▼	60.3	8.8	15.7	15.0							0.0	0.2	逆転・分散	
14					(3)	敬語について理解している。	90.0	80.0	△	4.9	0.9	4.0	90.0							0.0	0.2		
15					(4)	同音・同訓の漢字の使い分けができる。	59.8	60.0	≒	59.8	0.5	0.0								35.9	3.7	—	
16	4	(1)		物語の内ようを読み取る	登場人物の様子を読み取ることができる。	82.4	80.0	≒	4.9	82.4	11.9	0.7						0.0	0.1				
17					(2)	登場人物の心情を読み取ることができる。	94.0	85.0	△	1.4	2.9	1.5	94.0							0.0	0.2		
18					(3)	登場人物の心情を読み取ることができる。	91.4	85.0	△	91.4	1.0	1.3	6.0							0.0	0.3		
19					(4)	目的や必要に応じて、登場人物の心情を読み取ることができる。	45.4	55.0	▼	45.4										42.3	12.3	—	
20	5	(1)		説明文の内ようを読み取る	文章の内容を的確に読み取ることができる。	73.8	75.0	≒	3.1	19.3	73.8	3.4						0.0	0.4				
21					(2)	文章の内容を的確に読み取ることができる。	55.6	60.0	≒	1.3	55.6	25.8	17.0							0.0	0.4	分散	
22					(3)	文章の内容を的確に読み取ることができる。	72.4	70.0	≒	72.4	9.2	6.3	11.5							0.0	0.6		
23	6	(1)		ポスターを作る	ポスターの工夫を理解することができる。	70.7	65.0	△	18.4	4.2	70.7	5.9						0.0	0.8				
24					(2)	ポスターへの意見を受けて、ポスターを改善するための文章を書くことができる。	46.9	40.0	△	24.7	0.3	38.2	5.9							20.3	10.5	—	
25	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	63.7	65.0	≒	63.7	4.5								20.7	11.1	—			
26					2段落構成で文章を書くことができる。	65.9	70.0	≒	59.5	6.4	1.9									21.1	11.1	—	
27					自分の意見を明らかにして文章を書くことができる。	82.1	80.0	≒	81.3	1.7										5.9	11.1	—	
28					理由や事例を挙げて文章を書くことができる。	66.8	60.0	△	53.4	26.7											8.8	11.1	—



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校5年  
算数

熊本県教育委員会  
第5学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率								選肢問題の 出現パターン					
									1	2	3	4	5	6	7	8		9	10			
1	1		(1)	小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の計算ができる。	80.4	80.0	≒	80.4									19.3	0.3			
2					小数第一位×小数第一位(純小数同士の乗法)の計算ができる。	87.0	85.0	≒	87.0											12.7	0.3	
3					小数第一位×小数第二位(乗数に空白あり)の計算ができる。	58.2	60.0	≒	58.2												40.7	1.1
4					小数第一位÷小数第一位=整数の計算ができる。	83.7	85.0	≒	83.7	8.0											5.6	2.6
5			(5)	小数第二位÷小数第一位=小数第一位の計算ができる。	73.0	70.0	≒	73.0												21.8	5.2	
6			(6)	小数第一位÷小数第一位=小数第二位(商が純小数)のわり進む計算ができる。	71.0	70.0	≒	71.0												21.0	8.0	
7			(7)	分数のたし算・ひき算	真分数+真分数=真分数で、分母どしをかける通分をする計算ができる。	82.6	85.0	≒	82.6											13.7	7.0	
8			(8)		帯分数-真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	67.2	70.0	≒	43.6	23.6										25.8	7.7	
9	2			整数のなかま分け	偶数について理解している。	77.5	80.0	≒	77.5									0.1	0.5			
10	3	(1)		整数のなかま分け	最小公倍数を求めることができる。	83.8	90.0	▼	10.0	83.8	2.8	1.8						1.3	0.3			
11					(2)	最大公約数を求めることができる。	74.7	80.0	▼	2.4	6.8	74.7	14.2							0.6	1.2	
12	4			整数のなかま分け	最小公倍数の問題を解くことができる。	67.1	70.0	≒	67.1									29.4	3.5			
13	5			小数のかけ算・わり算	小数の乗法と除法において、乗数による被乗数と積、除数による被除数と商の大小関係を理解している。	42.3	45.0	≒	27.8	42.3	11.6	15.5						0.2	2.6			
14	6			小数のかけ算・わり算	余りのある小数の除法の商と余りを正しく求めることができる。	46.8	45.0	≒	10.5	22.0	46.8	19.5						0.1	1.0			
15	7			小数のかけ算・わり算	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。	48.8	50.0	≒	48.8	12.8	12.9							19.1	6.5			
16	8	(1)		小数のかけ算・わり算	図を使って、小数倍の文章問題(何倍かを求める)に合った除法の式を選ぶことができる。	70.4	75.0	≒	5.5	7.9	15.4	70.4							0.0	0.7		
17					(2)	図を使って、小数倍の文章問題(純小数倍、比較量を求める)に合った乗法の式を選ぶことができる。	23.1	30.0	▼	13.0	23.1	26.6	35.4								0.1	1.8
18	9	式 答え		小数のかけ算・わり算	文章問題を解くための小数の除法の立式ができる。	31.9	30.0	≒	31.9	11.4								53.1	3.5			
19					文章問題を解くために立式した小数第一位÷小数第一位=小数第二位(商が純小数)の式から、正しい答えを求めることができる。	29.3	30.0	▼	29.3												65.8	4.9
20	10			小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	62.7	70.0	▼	17.5	11.4	62.7	7.2						0.0	1.2			
21	11	(1)		小数のかけ算・わり算	小数の除法(純小数÷純小数)の文章問題を表した図を選ぶことができる。	55.2	55.0	≒	19.1	12.8	55.2	10.7							0.1	2.1		
22					(2)	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選ぶことができる。	33.9	40.0	▼	2.8	46.3	14.5	33.9								0.1	2.3
23	12			体積	立方体の体積の求め方を理解している。	61.5	65.0	≒	20.0	11.4	61.5	5.5						0.1	1.6			
24	13			体積	立方体の水そうの容積を求める式を選ぶことができる(単位換算あり)。	23.1	30.0	▼	54.8	13.0	7.6	23.1						0.0	1.5			
25	14			体積	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。	68.7	75.0	▼	5.1	68.7	12.9	10.6						0.4	2.3			
26	15			単位量あたりの大きさ	値に0があり、答えが小数になる分母量の平均を求めることができる。	83.6	85.0	≒	83.6	3.6	5.1	6.4						0.1	1.3			
27	16			単位量あたりの大きさ	平均から全体の量を推測することができる。	35.7	40.0	≒	33.4	21.9	35.7	7.0						0.1	1.9			
28	17			合同	合同な図形の性質から、対応する角の大きさを求めることができる。	84.5	85.0	≒	0.9	4.8	84.5	7.3						0.8	1.7			
29	18			合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。	86.3	85.0	≒	86.3									9.7	4.0			
30	19	(1)		単位量あたりの大きさ	問題の場面を理解し、1m <sup>2</sup> あたりにとれたじゃがいもの重さを比較して、どちらの畑の方が面積のわりによれたのかを説明することができる。	42.0	40.0	▼	42.0	0.9									47.5	9.6		
31					(2)	畑の面積と1m <sup>2</sup> あたりのじゃがいもの重さから、3組とれたじゃがいもの重さを求めることができる。	21.2	30.0	▼	21.2											56.6	22.2
32	20	(1)		合同	合同な三角形を作図できる条件を理解している。	56.7	45.0	△	56.7										31.9	11.4		
33					(2)	合同な三角形を作図できる条件を説明することができる。	22.6	30.0	▼	22.1	0.5										43.1	34.2
34	(3)			合同	図形の性質を基に、図形の名前と1つ2つの辺の長さのみで合同な図形をかきことができる形を選ぶことができる。	50.4	45.0	△	13.1	14.1	50.4	4.9						0.3	17.3			

0% 20% 40% 60% 80% 100%

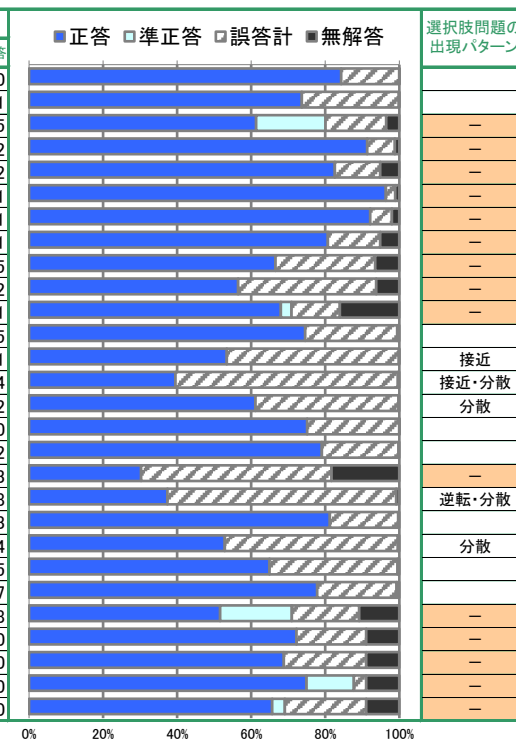
※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、A〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

小学校6年  
国語

熊本県教育委員会  
第6学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										無解答	選択肢問題の 出現パターン										
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	1	(1)		話し合いの内容を聞き取る	話し方の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞くことができる。	84.3	80.0	≒	84.3	2.5	12.5	0.7										0.0	0.0							
2		(2)			司会者の役割を理解して、計画的に話し合おうとすることができる。	73.7	75.0	≒	10.4	73.7	3.0	12.9											0.0	0.1						
3		(3)				話し手の意図を考えながら、自分の考えをまとめることができる。	70.7	65.0	△	61.3	18.8													16.4	3.5	—				
4	2	(1)	①	漢字を読む	第6学年配当漢字を読むことができる。	91.3	85.0	△	91.3														7.5	1.2	—					
5						②	82.5	75.0	△	82.5															12.2	5.2	—			
6						③	96.4	90.0	△	96.4																2.5	1.1	—		
7						④	92.1	85.0	△	92.1																5.8	2.1	—		
8		(2)	①	漢字を書く	第5学年配当漢字を書くことができる。	80.7	70.0	△	80.7	10.8	1.6													1.7	5.1	—				
9						②	66.6	60.0	△	66.6	9.8	8.1														9.1	6.5	—		
10						③	56.4	50.0	△	56.4																37.3	6.2	—		
11						④	69.5	65.0	≒	68.0	2.9															13.0	16.1	—		
12						3	(1)		言葉の学習	三字の熟語の構成について理解している。	74.5	80.0	▼	7.2	12.5	74.5	5.1										0.1	0.5	—	
13							(2)			同音異字について理解している。	53.4	55.0	≒	1.2	41.5	2.0	53.4											1.9	0.1	接近
14							(3)	①		敬語(尊敬語)の使い方理解している。	39.5	45.0	▼	19.2	39.5	9.0	31.8											0.1	0.4	接近・分散
15	②	敬語(謙譲語)の使い方理解している。	61.1	50.0	△	3.9			61.1	14.9	19.8											0.0	0.2	分散						
16	4	(1)		物語の内容を読み取る	場面の描写を読み取ることができる。	75.1	75.0	≒	11.1	75.1	8.0	5.7										0.0	0.0	—						
17		(2)			登場人物の心情を読み取ることができる。	79.1	80.0	≒	5.7	10.8	79.1	4.3											0.0	0.2	—					
18		(3)			目的や必要に応じて、場面の描写と登場人物の心情を読み取ることができる。	30.2	40.0	▼	30.2	0.8	0.9	7.7											42.1	18.3	—					
19		(4)					37.3	45.0	▼	37.3	8.7	39.7	13.3										0.1	0.8	逆転・分散					
20	5	(1)		説明文の内容を読み取る	文章の内容を的確に読み取ることができる。	81.3	80.0	≒	6.8	81.3	5.8	5.8										0.0	0.3	—						
21		(2)			文章の特徴を的確に読み取ることができる。	52.9	60.0	▼	18.4	9.9	18.4	52.9											0.1	0.4	分散					
22		(3)				文章の特徴を的確に読み取ることができる。	64.9	65.0	≒	14.7	12.9	64.9	6.9											0.0	0.5	—				
23	6	(1)		報告する文章を書く	報告する文章における表現の工夫を理解することができる。	77.8	75.0	≒	3.5	6.0	77.8	11.9											0.0	0.7	—					
24		(2)			資料の内容を読み取って、文章に適切に書き表すことができる。	61.3	50.0	△	51.6	0.2	19.1												18.2	10.8	—					
25	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	72.2	75.0	≒	72.2	4.1												14.7	9.0	—						
26					2段落構成で文章を書くことができる。	68.8	75.0	▼	60.6	8.2	2.0												20.2	9.0	—					
27						自分の意見とその理由を明らかにして書くことができる。	81.3	80.0	≒	74.9	12.8													3.3	9.0	—				
28						事例を挙げて文章を書くことができる。	67.3	60.0	△	65.7	3.4													22.0	9.0	—				



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。



小学校6年  
算数

熊本県教育委員会  
第6学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン				
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		類型外誤答	無解答		
1	1			分数のかけ算・わり算	分数×分数(約分なし)の計算ができる。	95.8	90.0	△	95.8									3.9	0.2	—			
2					整数×分数(約分1回)の計算ができる。	93.0	90.0	≒	93.0											6.6	0.3	—	
3					帯分数×帯分数(約分1回)の計算ができる。	85.0	85.0	≒	85.0												14.4	0.7	—
4					分数÷分数(約分なし)の計算ができる。	91.5	90.0	≒	91.5												7.7	0.8	—
5					分数÷帯分数(約分2回)の計算ができる。	89.8	85.0	≒	89.8												9.1	1.0	—
6					整数×分数×分数の計算ができる。	90.3	90.0	≒	90.3												8.3	1.4	—
7					分数×分数÷分数の計算ができる。	84.2	80.0	≒	84.2												14.3	1.5	—
8	2			分数のかけ算・わり算	逆数について理解している。	90.3	85.0	△	1.0	2.1	6.5	90.3						0.1	0.1	—			
9					分数の計算でも、分配法則が成り立つことを理解している。	75.2	70.0	△	16.3	75.2	5.6	2.6								0.2	0.2	—	
10	3			分数のかけ算・わり算	分数の乗数、除数の大きさから、積、商と被乗数、被除数の大小を判断することができることを理解している。	52.1	60.0	▼	7.6	31.9	52.1	7.6					0.3	0.5	接近				
11	4			分数のかけ算・わり算	分数の除法の意味(わり算の性質)を理解している。	68.0	65.0	≒	11.6	8.0	68.0	11.7					0.0	0.6	—				
12	5			分数のかけ算・わり算	基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求めることができる。	62.6	60.0	≒	62.6	22.3	8.5	5.7						0.2	0.9	—			
13					比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	70.1	75.0	≒	10.8	15.3	70.1	3.5								0.0	0.4	—	
14	6			分数のかけ算・わり算	分数の除法の文章問題にあった図を選ぶことができる。	71.6	70.0	≒	4.5	13.9	9.6	71.6						0.0	0.3	—			
15					分数の除法の文章問題にあった式を選ぶことができる。	47.7	50.0	≒	1.1	26.4	47.7	24.2								0.0	0.5	接近・分散	
16	7			分数のかけ算・わり算	分数倍の文章問題(基準量を求める)を解くための式を立式することができる。	78.6	75.0	△	78.6	6.1								9.9	5.3	—			
17					文章問題を解くために立式した整数÷分数の式から、正しい答えを求めることができる。	75.8	70.0	△	75.8											17.3	6.9	—	
18	8			速さ	道のりとかかった時間から時速を求める式を選ぶことができる。	87.3	85.0	≒	0.5	9.9	87.3	2.2						0.0	0.1	—			
19					速さをもとに、ある道のりを移動するのにかかる時間を求める式を選ぶことができる。	83.3	85.0	≒	83.3	5.5	0.6	10.5								0.0	0.1	—	
20					速さと時間から、進む道のりを求めること(単位換算あり)ができる。	33.2	40.0	▼	14.4	6.4	33.2	45.8									0.0	0.2	逆転・分散
21					速さの単位の関係を理解し、分速を時速に直すことができる。	76.0	75.0	≒	3.8	76.0	12.1	7.8									0.0	0.4	—
22	9			面積と体積	直径が与えられた円の面積を求める式を立式できる。	86.3	80.0	△	86.3	3.1	0.3							9.4	0.9	—			
23					角柱の体積を求めることができる。	76.2	75.0	≒	76.2											21.5	2.3	—	
24	10			対称な形	線対称な図形の対応する辺について理解している。	38.7	40.0	≒	4.4	38.7	56.1	0.7						0.0	0.1	逆転			
25					点対称な図形について理解し、作図することができる。	89.0	85.0	≒	89.0	7.5										2.9	0.6	—	
26	11			拡大図と縮図	図形の拡大図について理解している。	94.3	90.0	≒	2.7	2.4	94.3	0.2					0.1	0.2	—				
27	12			拡大図と縮図	縮図を使って実際の長さを求めることができる。	86.5	80.0	△	4.6	86.5	3.8	4.4						0.1	0.6	—			
28	13			文字と式	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表すことができることを理解している。	78.6	80.0	≒	78.6									20.5	0.9	—			
29					2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	68.3	70.0	≒	68.3											29.4	2.2	—	
30	14			文字と式	文字を使った式が表す場面を選ぶことができる。	64.2	65.0	≒	21.0	5.3	64.2	8.9					0.0	0.5	—				
31	15			比と比の値	等しい比について理解している。	73.5	70.0	≒	15.5	73.5	2.6	7.8						0.0	0.6	—			
32					比を使って、全体の量から他方の量を求めることができる。	61.1	60.0	≒	61.1	6.8	25.0	6.2								0.1	0.9	—	
33	16			面積と体積	円と四角形を組み合わせてできる図形の面積の求め方を説明することができる。	62.3	55.0	△	48.2	14.1								30.4	7.3	—			
34					示された図が半円の面積と等しいことに気づき、同じように半円の面積と等しい面積の図形を選ぶことができる。	72.0	70.0	≒	3.7	4.5	72.0	17.8								0.2	1.8	—	
35	17			速さ	50mを走る記録から、速さを求めることができる。	71.2	65.0	△	71.2									22.3	6.5	—			
36					同時にゴールするために、兄が走る時間と弟が走る速さから、弟が走る距離を何mにすればよいか判断することができる。	41.9	35.0	△	28.8	13.1										36.7	21.5	—	

0% 20% 40% 60% 80% 100%

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。



中学校1年  
国語

熊本県教育委員会  
第1学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン											
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	1			話し合いの内容を聞き取る	話の内容を正確に聞き取ることができる。	81.1	80.0	≒	4.5	81.1	2.2	11.9											0.0	0.3						
2						74.9	75.0	≒	8.2	8.4	7.9	74.9														0.0	0.5			
3						70.8	75.0	≒	70.8	15.9	2.7	9.8															0.0	0.7		
4						41.7	45.0	≒	41.7	0.0																	49.3	9.0	—	
5	2	(1)	①	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。	82.7	80.0	≒	82.7														13.1	4.2	—					
6						76.8	80.0	≒	76.8																19.0	4.2	—			
7						98.6	90.0	△	98.6																	1.0	0.5	—		
8						68.8	75.0	▽	68.8																	22.1	9.0	—		
9		(2)	①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を書くことができる。	42.7	50.0	▼	42.7	4.0	5.9													29.2	18.2	—				
10						54.4	55.0	≒	54.4	7.1	11.0															10.3	17.1	—		
11						71.3	60.0	△	71.3																		10.6	18.1	—	
12						84.4	80.0	≒	84.4																		3.0	12.6	—	
13	3	(1)		文法・語句に関する知識	文節について理解している。	88.6	85.0	≒	88.6															10.0	1.4	—				
14						55.6	60.0	≒	55.6	15.6																27.2	1.5	—		
15						54.6	55.0	≒	54.6	23.5																	12.0	9.9	—	
16						40.8	45.0	≒	40.8	12.4																	0.0	1.0	—	
17	4	(1)		説明文の内容を読み取る	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	57.9	60.0	≒	9.6	11.3	57.9	20.7												0.0	0.5	接近・分散				
18						63.1	60.0	≒	60.6	5.2																15.4	18.9	—		
19						45.4	50.0	≒	17.2	45.4	23.6	12.3															0.0	1.5	接近・分散	
20	5	(1)		文学作品の内容を読み取る	登場人物の心情をとらえることができる。	68.1	70.0	≒	68.1	12.8	5.8	12.7												0.0	0.6	—				
21						69.7	70.0	≒	6.0	69.7	10.6	12.9														0.0	0.6	—		
22						47.3	50.0	≒	40.5	6.6	4.7	47.3															0.0	0.9	接近	
23						48.9	50.0	≒	11.5	31.0	7.5	48.9															0.0	1.1	—	
24	6	(1)		図書紹介について報告する文章を書く	報告の下書きの書き方を理解することができる。	63.4	60.0	≒	10.1	14.9	63.4	10.3												0.0	1.4	—				
25						64.3	60.0	≒	64.3	6.8	6.0	21.2														0.0	1.7	—		
26						63.8	50.0	△	63.7	0.1																	21.0	15.1	—	
27	7			作文	指定された文字数で書くことができる。	71.3	70.0	≒	71.3	5.6														9.3	13.8	—				
28						66.6	65.0	≒	65.8	1.7	7.4															11.4	13.8	—		
29						84.0	75.0	△	84.0	0.1																	2.2	13.8	—	
30						71.5	65.0	△	64.9	13.2																	8.1	13.8	—	
31						62.6	60.0	≒	56.5	12.1																	17.6	13.8	—	

0% 20% 40% 60% 80% 100%

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

中学校1年  
数学

熊本県教育委員会  
第1学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン				
									1	2	3	4	5	6	7	類型外誤答	無解答						
1	1			正の数・負の数	正負の数の減法ができる。	81.4	75.0	△	81.4								18.1	0.5	—				
2					正負の数の除法ができる。	70.5	75.0	≒	70.5										23.2	6.3	—		
3					累乗を含む正負の数の乗法ができる。	71.7	70.0	≒	71.7	14.1										13.1	1.2	—	
4					文字式	同類項をまとめることができる。	62.4	60.0	≒	62.4											34.7	2.8	—
5						1次式の減法ができる。	42.7	45.0	≒	42.7	16.0	17.7									17.8	5.8	—
6						分数を含む1次式と整数の乗法を、分配法則を使って計算することができる。	56.4	55.0	≒	56.4											34.3	9.4	—
7	2		1次方程式	等式の性質について理解し、簡単な1次方程式を解くことができる。	79.2	80.0	≒	79.2									16.8	4.0	—				
8				簡単な1次方程式を解くことができる。	71.4	75.0	≒	71.4										23.2	5.4	—			
9				分数を含む1次方程式を解くことができる。	42.1	45.0	≒	42.1										38.6	19.3	—			
10	3			1次方程式	比例式を解くことができる。	60.9	60.0	≒	6.2	3.7	60.9	20.0	8.1			0.0	1.0	—					
11	4			正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	54.0	60.0	▼	31.4	54.0	6.7	7.6				0.0	0.2	—					
12					絶対値について理解している。	73.1	80.0	▼	73.1									20.0	6.9	接近			
13	5			正の数・負の数	正負の数で表された枚数の、差を求める式を選ぶことができる。	58.7	55.0	≒	16.5	58.7	15.1	9.4				0.0	0.3	分散					
14	6			文字式	文字式の表し方を理解している。	54.2	55.0	≒	34.6	8.5	2.5	54.2				0.0	0.3	—					
15					数量の関係を表した不等式を選ぶことができる。	59.6	55.0	≒	59.6	8.8	24.1	7.1					0.1	0.3	接近				
16	7			1次方程式	等式の性質を理解している。	83.7	80.0	≒	4.5	6.9	83.7	4.3				0.0	0.5	—					
17	8			1次方程式	具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	79.9	75.0	≒	7.8	6.4	79.9	5.4				0.0	0.5	—					
18					文章問題を解くための方程式を立式することができる。	50.3	45.0	△	50.3	7.2								28.1	14.4	—			
19	9			比例・反比例	座標平面上の点の座標について理解している。	80.0	85.0	▼	12.0	3.1	4.3	80.0			0.0	0.7	—						
20	10			比例・反比例	比例の式から、その関係を表す表を選ぶことができる。	69.9	75.0	▼	69.9	2.7	17.2	9.5				0.0	0.7	—					
21					比例の関係にあるxとyを、式に表すことができる。	46.2	55.0	▼	21.0	27.9	4.0	46.2						0.0	0.9	接近・分散			
22					反比例の関係にあるxとyを、式に表すことができる。	61.6	65.0	≒	15.5	61.6	14.0	7.3						0.0	1.6	分散			
23					反比例の式から、そのグラフをかきことができる。	38.3	40.0	≒	38.3	3.1	5.3							40.5	12.8	—			
24	11			比例・反比例	具体的な事象について、yがxに比例していることを読み取り、その式を選ぶことができる。	73.2	75.0	≒	7.6	73.2	13.0	4.7			0.0	1.6	—						
25	12			比例・反比例	具体的な事象について、yがxに反比例していることから、その関係を表す式を立式することができる。	30.4	30.0	≒	30.4							55.4	14.3	—					
26	13			平面図形	平行であることを表す記号を理解している。	72.9	75.0	≒	3.7	14.9	6.8	72.9				0.1	1.5	—					
27					平行移動について理解している。	54.4	55.0	≒	54.4	12.0	15.0	17.0					0.0	1.6	分散				
28					図形を回転移動させた角度について理解している。	57.6	50.0	△	4.1	14.4	57.6	22.1					0.0	1.7	分散				
29	14			平面図形	三角形をある直線を対称の軸として対称移動させた三角形を作図することができる。	66.5	65.0	≒	66.5							25.0	8.5	—					
30	15			1次方程式	与えられた情報を読み取り、必要な数の本数を求めることができる。	80.2	80.0	≒	80.2							16.2	3.6	—					
31					①	与えられた情報から1次方程式を立式し、その方程式を解くことができる。	16.4	25.0	▼	16.4								55.2	28.4	—			
32					②	ホスターの問を10cmずつ離すことができるかについて正しい記述を選び、その理由を式をもとに説明することができる。	27.5	25.0	≒	8.6	1.8	8.7	1.1	7.3	36.4	25.1		0.6	10.4	—			
33	16			比例・反比例	与えられた表の関係が比例であることから、装置を35分間稼働させたときに使用する水の量を求めることができる。	65.6	70.0	≒	65.6							19.2	15.2	—					
34					与えられた表の関係が反比例であると判断し、表の特徴をもとに判断の理由を説明することができる。	45.4	40.0	△	6.7	2.9	35.8	10.8	20.3	9.0			0.2	14.2	—				

0% 20% 40% 60% 80% 100%

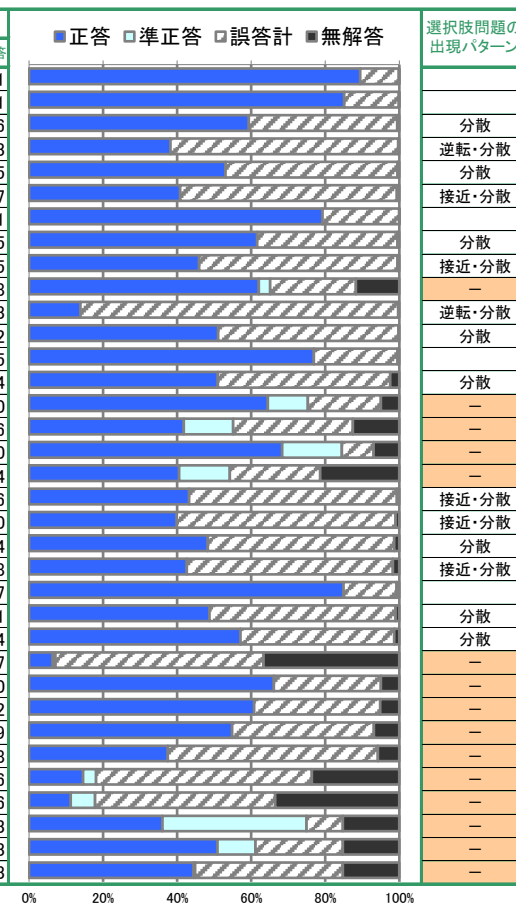
※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

中学校1年  
英語

熊本県教育委員会  
第1学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン		
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		無解答	
1	1			リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(動作と時刻)	89.5	80.0	△	89.5	5.5	3.6	1.3						0.0	0.1		
2					絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(代名詞・スポーツ)	85.1	85.0	≒	0.7	12.9	85.1	1.1								0.0	0.1
3					絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(時間と曜日)	59.3	55.0	≒	8.4	17.5	59.3	14.2									0.0
4	2			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(京都出身かとたずねられて)	38.2	50.0	▼	39.7	8.5	13.3	38.2						0.0	0.3		
5					対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(何時かとたずねられて)	53.0	55.0	≒	53.0	21.3	10.3	14.9								0.0	0.5
6					対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(どこにあるかとたずねられて)	40.8	55.0	▼	16.6	25.2	40.8	16.7									0.0
7	3			リスニング(内容理解)	英文の要点を聞き取ることができる。(テニススクールの女子の人数)	79.2	70.0	△	4.6	79.2	7.6	8.5						0.0	0.1		
8					英文の要点を聞き取ることができる。(いつテニスの練習をするか)	61.6	60.0	≒	61.6	15.4	15.2	7.3								0.0	0.5
9					英文の要点を聞き取ることができる。(スピーチのテーマ)	46.0	50.0	≒	10.8	46.0	16.8	25.9									0.0
10	4			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	63.6	60.0	≒	62.0	3.1							23.1	11.8			
11	5	①	(1)	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(be動詞)	13.9	50.0	▼	63.7	19.1	13.9	3.0						0.0	0.3		
12					語形・語法を理解することができる。(一般動詞の疑問文)	51.0	65.0	▼	21.4	51.0	7.8	19.6								0.0	0.2
13					語形・語法を理解することができる。(疑問詞how many)	76.9	80.0	≒	10.5	6.9	5.1	76.9								0.0	0.5
14					語形・語法を理解することができる。(複数の人称代名詞)	50.9	55.0	≒	17.3	16.9	50.9	12.5									0.0
15		②	(2)	語彙の知識・理解	単語を正しく書くことができる。(サッカー)	69.9	70.0	≒	64.5	10.8									19.7	5.0	
16					単語を正しく書くことができる。(火曜日)	48.4	60.0	▼	41.8	13.4										32.3	12.6
17					単語を正しく書くことができる。(歌う)	76.4	80.0	≒	68.3	16.1										8.6	7.0
18					単語を正しく書くことができる。(おもしろい)	47.4	55.0	▼	40.6	13.7										24.4	21.4
19	6			さまざまな英文の読み取り	英文の情報を読み取り、特定の情報を選ぶことができる。	43.2	50.0	▼	8.4	43.2	28.5	19.3						0.0	0.6		
20					対話の流れと資料の情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	39.9	50.0	▼	29.5	18.7	39.9	11.0								0.0	1.0
21					対話の流れとグラフから、適切な語を判断することができる。	48.3	50.0	≒	12.2	17.9	20.2	48.3								0.0	1.4
22	7			長文の読み取り	対話の流れとグラフから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	42.6	50.0	▼	25.7	42.6	17.7	12.3						0.0	1.8		
23					スピーチの内容を把握することができる。	84.9	75.0	△	3.9	5.4	5.0	84.9								0.0	0.7
24					読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	48.7	45.0	≒	11.1	16.8	48.7	22.3								0.0	1.1
25					読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	57.1	70.0	▼	57.1	15.7	17.2	8.6								0.0	1.4
26	8			単語の並べかえによる英作文	読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	6.7	25.0	▼	6.4	0.7							56.2	36.7			
27					英文を正しい語順で書くことができる。(疑問詞whoを使った疑問文)	66.1	70.0	≒	66.1										28.9	5.0	
28					英文を正しい語順で書くことができる。(be動詞の否定文)	60.8	65.0	≒	60.8										34.1	5.2	
29					英文を正しい語順で書くことができる。(命令文)	54.8	65.0	▼	54.8										38.3	6.9	
30	9			場面に応じて書く英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(疑問詞what timeを使った疑問文)	37.5	50.0	▼	37.5								56.7	5.8			
31					対話の流れに合った英文を書くことができる。(whoseを使って誰のものをかをたずねる)	16.4	30.0	▼	14.6	3.5								58.3	23.6		
32					対話の流れに合った英文を書くことができる。(whereを使って場所をたずねる)	14.6	30.0	▼	11.3	6.5								48.6	33.6		
33	10			3文以上の英作文	自分が大切にしているものについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	55.5	55.0	≒	36.0	39.0							9.8	15.3			
34					自分が大切にしているものについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	56.0	55.0	≒	50.9	10.3								23.5	15.3		
35					自分が大切にしているものについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	44.6	45.0	≒	22.4	22.0	0.4							39.9	15.3		



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

中学校2年  
国語

熊本県教育委員会  
第2学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン					
									1	2	3	4								類型外誤答	無解答			
1	1		(1)	話し合いの内容を聞き取る	話の内容を正確に聞き取ることができる。	92.7	90.0	≒	92.7	2.7	3.1	1.4						0.0	0.1					
2			聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。		87.5	85.0	≒	1.2	5.2	87.5	5.8								0.0	0.3				
3			司会者の工夫を聞き取ることができる。		88.5	85.0	≒	1.6	8.7	1.0	88.5									0.0	0.3			
4			相手の発言を踏まえて、司会者としての役割を果たすことができる。		80.1	75.0	△	78.8	2.7											11.7	6.9	-		
5	2	(1)	①	漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を読むことができる。	80.5	85.0	≒	80.5									10.1	9.4	-				
6					47.4	50.0	≒	47.4											41.3	11.3	-			
7					82.0	85.0	≒	82.0												13.5	4.4	-		
8					42.2	55.0	▼	42.2												35.9	21.9	-		
9		(2)	①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を書くことができる。	75.9	75.0	≒	75.9	18.3	0.5								0.7	4.6	-			
10					40.7	40.0	≒	40.7	4.0	29.8										10.3	15.2	-		
11					55.5	60.0	≒	55.5													19.3	25.1	-	
12					77.5	75.0	≒	77.5													8.6	13.9	-	
13	3	(1)	A	文法・語句に関する知識	品詞の分類について理解している。	47.5	45.0	≒	10.8	35.4	47.5	5.8							0.0	0.4	接近			
14					行書の特徴について理解している。	51.0	45.0	△	51.0	10.3	13.0	25.0									0.0	0.7	分散	
15					3	(3)	故事成語について理解している。	75.5	75.0	≒	5.5	75.5	10.3	7.6								0.0	1.0	-
16					4	B	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。	75.4	80.0	≒	75.4	11.7										8.9	3.9	-
17					古典の文章の内容をとらえることができる。		79.0	75.0	≒	79.0												16.7	4.3	-
18	4	(1)		説明文の内容を読み取る	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	79.5	80.0	≒	13.2	4.8	2.2	79.5							0.0	0.4	-			
19					文章の構成や展開をとらえることができる。	48.0	50.0	≒	48.0	15.4	27.2	8.6									0.0	0.8	接近・分散	
20					59.1	60.0	≒	10.6	59.1	9.5	19.6										0.0	1.2	-	
21					46.0	45.0	≒	23.9	44.2												10.8	21.1	-	
22	5	(1)		文学作品の内容を読み取る	場面の展開をとらえることができる。	82.6	80.0	≒	5.9	82.6	8.4	2.3							0.1	0.8	-			
23					登場人物の心情の変化をとらえることができる。	49.0	55.0	▼	7.2	10.2	32.5	49.0									0.0	1.1	接近	
24					登場人物の人物像をとらえることができる。	60.2	65.0	≒	9.4	60.2	18.2	10.9									0.0	1.3	-	
25					63.7	65.0	≒	9.4	14.4	63.7	10.8										0.0	1.8	-	
26	6	(1)		職場体験で学んだことを発表する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することができる。	37.1	40.0	≒	23.4	23.2	14.2	37.1							0.0	2.0	接近・分散			
27					相手の考えを尊重したうえで、自分の考えをまとめることができる。	35.2	40.0	≒	20.4	29.7											22.6	27.3	-	
28					資料を使う効果について理解することができる。	65.3	65.0	≒	59.0	12.7												22.2	6.1	-
29	7			作文	指定された文字数で書くことができる。	66.2	65.0	≒	66.2	5.9									10.5	17.3	-			
30					3段落構成で文章を書くことができる。	63.5	55.0	△	62.9	1.2	3.0										15.6	17.3	-	
31					読み取った内容を明確にして書くことができる。	75.9	70.0	△	73.8	4.2											4.6	17.3	-	
32					75.2	70.0	△	74.4	1.5												6.7	17.3	-	
33					自分の考えを明確にして書くことができる。	67.3	60.0	△	64.8	5.0												12.9	17.3	-

0% 20% 40% 60% 80% 100%

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

中学校2年  
数学

熊本県教育委員会  
第2学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率								無解答	選択肢問題の 出現パターン							
									1	2	3	4	5	6	7	8			類型外誤答						
1	1	(1)		式の計算	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	88.6	90.0	≒	88.6									10.5	0.9	—					
2					単項式の乗法と除法の混じった式の計算ができる。	64.5	65.0	≒	64.5											28.6	6.9	—			
3					分数を含む多項式の計算ができる。	62.4	55.0	△	62.4	6.9											22.5	8.2	—		
4	2	(2)		連立方程式	加減法について理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	67.9	75.0	▼	67.9	10.1									12.7	9.3	—				
5					代入法について理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	71.0	75.0	≒	71.0											15.7	13.3	—			
6					A=B=Cの形の方程式を解くことができる。	45.4	50.0	≒	45.4												32.4	22.2	—		
7						52.7	55.0	≒	52.7												25.3	22.0	—		
8	3	(1)		式の計算	2つの文字を含む式について、数を代入して式の値を求めることができる。	40.0	45.0	≒	40.0	19.4	26.8	11.4							0.0	2.3	—				
9					等式を変形して、式をある文字について解くことができる。	49.5	50.0	≒	49.5	8.2	8.0	13.5	49.5	14.5							0.0	1.3	接近・分散		
10	4			連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	71.6	75.0	≒	71.6									13.5	14.8	分散					
11	5			連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	50.0	50.0	≒	50.0										21.0	29.1	—				
12	6	(1)		1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。	59.6	65.0	▼	20.3	10.6	8.7	59.6							0.0	0.8	—				
13					1次関数の式について、xの値とそれに対応するyの値を正しく表した表を選ぶことができる。	58.7	60.0	≒	58.7	19.3	58.7	10.5										0.0	2.2	—	
14	7			1次関数	1次関数の式から、グラフをかくことができる。	67.3	70.0	≒	67.3	7.8									20.2	4.6	—				
15	8	(2)		1次関数	1次関数の式とxの増加量から、yの増加量を求めることができる。	67.1	65.0	≒	11.4	11.8	67.1	8.7								0.0	1.0	—			
16					グラフ上で示されたx、yの増加量から、1次関数の変化の割合を求めることができる。	65.7	65.0	≒	11.3	65.7	14.9	7.1										0.0	1.0	—	
17					1次関数のグラフから、式を求めることができる。	78.7	75.0	≒	4.6	9.4	6.4	78.7											0.0	0.9	—
18					グラフが2点を通る1次関数の式を求めることができる。	56.2	60.0	≒	15.1	56.2	15.7	10.7											0.0	2.3	分散
19					グラフがある直線に平行で、1点を通る1次関数の式を求めることができる。	59.4	65.0	▼	10.8	16.8	59.4	9.9											0.1	3.1	—
20	9	(1)		1次関数	グラフがy軸に平行な直線になる方程式について理解している。	49.6	55.0	▼	6.9	23.2	18.2	49.6								0.1	2.0	分散			
21					2つの直線の交点の座標を求めることができる。	46.6	50.0	≒	46.6	22.5	10.6	14.8										0.0	5.5	接近・分散	
22	10			1次関数	具体的な事象について、yがxの1次関数である式を立式することができる。	16.4	30.0	▼	16.4	23.7									43.2	16.7	—				
23	11			1次関数	座標軸上に頂点をもつ三角形の面積を求めることができる。	35.5	40.0	≒	35.5											21.7	42.8	—			
24	12			図形の性質	錯角について理解している。	43.8	45.0	≒	4.3	43.8	10.5	38.9								0.0	2.5	接近			
25	13	(1)		図形の性質	平行線と同位角、錯角の関係について理解し、角の大きさを求めることができる。	75.5	75.0	≒	75.5											18.8	5.6	—			
26					三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。	65.6	70.0	≒	65.6													23.0	11.4	—	
27					多角形の内角や外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。	56.6	60.0	≒	56.6														31.9	11.6	—
28	14			証明	証明の必要性和意味を理解している。	46.8	45.0	≒	46.8	30.6	13.9	5.2								0.0	3.5	接近・分散			
29	15	(1)		証明	証明の仮定が問題文のどの内容を指しているかを理解している。	47.0	50.0	≒	24.1	8.8	47.0	15.8								0.0	4.4	接近・分散			
30					与えられたことから、正しい三角形の合同条件を判断し、証明を完成させることができる。	65.0	65.0	≒	65.0	22.4	8.3											0.0	4.4	—	
31	16	(1)		式の計算	与えられた問題を理解し、2つの3けたの数の差を求めることができる。	39.5	40.0	≒	39.5											21.8	38.7	—			
32					示された2つの3けたの数の差が、いつでも8の倍数になることを、文字式を使って説明することができる。	11.7	25.0	▼	2.9	2.6	4.1	0.3	0.0	2.0	20.6	1.2						15.5	50.6	—	
33	17	(1)		1次関数	問題文を理解し、A店で10枚印刷したときにかかる費用を求めることができる。	51.8	50.0	≒	51.8											22.4	25.8	—			
34					最も安い店を選ぶことができるように、グラフの傾きを読み取ればよいかを説明し、印刷枚数ごとに最も安い店を判断することができる。	34.7	30.0	≒	30.9	3.8	21.1												26.1	18.1	—

0% 20% 40% 60% 80% 100%

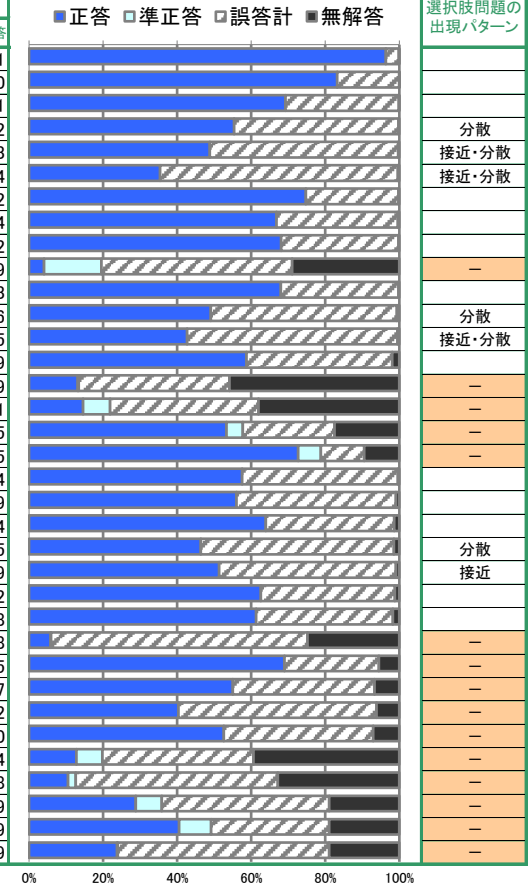
※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

中学校2年  
英語

熊本県教育委員会  
第2学年  
令和元年度

【県全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン					
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		無解答				
1	1			リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(していること)	96.4	90.0	△	1.6	0.8	96.4	1.2						0.0	0.1					
2					絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(してはならないこと)	83.2	80.0	≒	9.5	83.2	1.0	6.2								0.0	0.0			
3					絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(時制と動作)	69.2	70.0	≒	5.2	7.0	18.4	69.2									0.0	0.1		
4	2			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(テニスをしようかと誘われて)	55.3	60.0	▽	55.3	14.1	9.6	20.7						0.0	0.2					
5					対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(だれの写真をたずねられて)	48.8	55.0	▽	13.7	48.8	25.5	11.7								0.0	0.3	分散		
6					対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(かばんの中に何があるのかたずねられて)	35.4	35.0	≒	29.8	35.4	19.0	15.5									0.0	0.4	接近・分散	
7	3			リスニング(内容理解)	英文の要点を聞き取ることができる。(授業を受ける曜日と時間帯)	74.7	75.0	≒	15.8	5.6	74.7	3.7						0.0	0.2					
8					英文の要点を聞き取ることができる。(音楽クラブに所属している生徒の人数)	66.8	70.0	≒	7.2	14.0	11.5	66.8								0.0	0.4			
9					英文の要点を聞き取ることができる。(スピーチの内容と合うもの)	68.1	65.0	≒	12.2	10.6	7.9	68.1								0.9	0.2			
10	4			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	11.8	25.0	▽	4.1	14.7	0.8						51.5	28.9		—				
11	5	(1)		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(依頼を表すCan you ~?の文)	68.0	70.0	≒	68.0	9.1	11.4	11.3						0.0	0.3					
12					語形・語法を理解することができる。(疑問詞which)	49.1	50.0	▽	18.8	49.1	12.5	19.0								0.0	0.6	分散		
13					語形・語法を理解することができる。(There is[are] ~. の過去の文)	42.7	50.0	▽	21.9	23.6	11.3	42.7									0.0	0.5	接近・分散	
14					語形・語法を理解することができる。(副詞的用法の不定詞)	58.7	55.0	≒	16.7	10.7	58.7	12.0									0.0	1.9		
15	(2)			語彙の知識・理解	単語を正しく書くことができる。(すく)	13.3	25.0	▽	13.1	0.3								40.7	45.9		—			
16					単語を正しく書くことができる。(言語)	18.2	30.0	▽	14.6	7.3										40.0	38.1		—	
17					単語を正しく書くことができる。(与える)	55.5	60.0	≒	53.3	4.4											24.7	17.5		—
18					単語を正しく書くことができる。(晴れた)	75.8	75.0	≒	72.7	6.1											11.7	9.5		—
19	6			さまざまな英文の読み取り	英文の情報を読み取り、適切な絵を選ぶことができる。	57.6	60.0	▽	5.6	5.4	57.6	31.1						0.0	0.4					
20					対話の流れと資料の情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	56.0	55.0	≒	12.8	56.0	10.1	20.2								0.0	0.9			
21					対話の流れと資料から、適切な名詞を判断することができる。	63.9	70.0	▽	63.9	16.3	8.7	9.7									0.0	1.4		
22	7			長文の読み取り	対話の流れと資料から、登場人物の適切な発言を判断することができる。	46.4	50.0	▽	18.7	19.3	14.2	46.4						0.0	1.5		分散			
23					himの指す内容を把握することができる。	51.3	50.0	≒	29.8	51.3	10.9	7.2								0.0	0.9		接近	
24					スピーチの内容を把握することができる。	62.6	65.0	≒	13.9	9.7	62.6	12.6									0.0	1.2		
25	8			単語の並べかえによる英作文	読み取った内容をふまえて、メールの中の適切な語を書くことができる。	5.9	25.0	▽	5.9	0.1								69.2	24.8		—			
26					英文を正しい語順で書くことができる。(don't have toを用いた文)	69.0	70.0	≒	69.0	6.6										19.0	5.5		—	
27					英文を正しい語順で書くことができる。(疑問詞whereを使った、be動詞の過去の疑問文)	55.0	60.0	▽	55.0	11.8											26.5	6.7		—
28	9			場面に応じて書く英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(think + that節の否定文)	40.4	40.0	≒	40.4									53.5	6.2		—			
29					英文を正しい語順で書くことができる。(名詞的用法の不定詞の疑問文)	52.6	55.0	≒	52.6											40.3	7.0		—	
30					対話の流れに合った英文を書くことができる。(何をすつもりかをたずねる)	16.3	25.0	▽	12.7	7.1											40.8	39.4		—
31	10			3文以上の英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。(過去の時刻をたずねる)	11.6	25.0	▽	10.5	2.1								54.6	32.8		—			
32					3年生になったらしたいことについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	32.3	45.0	▽	28.8	7.0										45.2	18.9		—	
33					3年生になったらしたいことについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	44.8	55.0	▽	40.5	8.7										31.9	18.9		—	
34	10			3文以上の英作文	3年生になったらしたいことについて、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。	23.9	40.0	▽	16.0	7.7	0.2							57.1	18.9		—			
35																							—	



※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▽…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。